

(様式2)

令和5年5月2日

女性の就農環境改善計画

(令和5年度女性の就農環境改善支援事業)

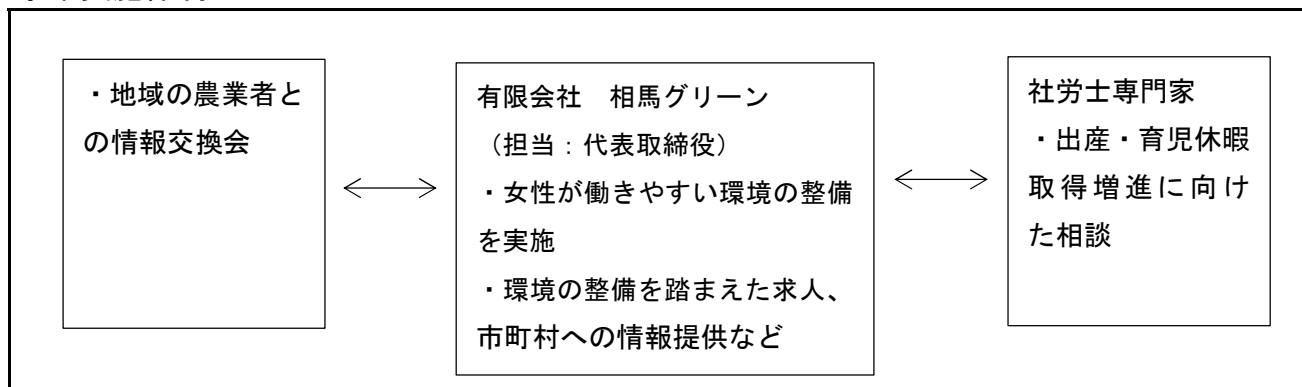
実施するメニュー (該当に○)	第4の(1) (施設等確保の取組)	○
	第4の(2) (グループの新たな取組)	

1 地域取組主体の概要

名称	有限会社 相馬グリーン	
所在地	茨城県常総市	
代表者	大内 新太郎	
主な組織の事業内容(注)	<ul style="list-style-type: none">・ 事業内容：緑化資材の生産・販売、土木・造園工事・ 従業員数： 20名(うち女性6名)・ 経営規模：3.4ha(品目：地被植物3.4ha)・ 農業関連事業：地被植物の販売。・ 離職率の低下を狙いとした既存の取り組み(出産・育児休暇)	女性農業者の人数：6人

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

（1）地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

<p>【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】</p> <p>植物ポット苗の生産量を増やすため、積極的に女性の雇用を増やしていきたい。 地域ではつくば市やJAが主導で就農者の確保・支援を行っているが、公共・民間工事の動向やライフスタイルの変化等が要因で緑化用樹木や苗の生産が減少傾向にあり、それに伴って離農者が増えている。 当社においても、衛生面に配慮した労働環境を整えるための設備投資が難しく、女性の確保が厳しい状況にある。</p> <p>【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性従業員5名が緑化部（ポット苗の生産）に従事している。 ・園芸ハウス横に男女兼用のトイレを設置しているが、プライバシーや防犯上の懸念から、女性従業員はほとんど利用していないという状況。 ・緑化部の雇用を拡大するためには、女性が安心して利用できる男女別トイレの設置が必要である。 <p>【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の雇用確保、定着において、本事業で男女別トイレの設置に取り組み、女性が利用しやすい環境（清潔なトイレ、化粧直しスペースなど）を整えることが必要である。

（注）（2）、（3）の取組に係る具体的な課題を記載する。

（2）女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

区分番号 （注1）	時期	確保場所	数量	利用する 女性農業 者（注2） の人数	事業費 （千円）		備考
					国庫補助金		
②男女別トイレ	R5.6	緑化資材用園芸ハウス横	1	5	537	489	
⑤作業台	R5.6	緑化資材用園芸ハウス内	2	5	118	107	

計	3	5	656	596	
---	---	---	-----	-----	--

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事のものとする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかると計画（実績）

取組区分		①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他					
区分番号 (注1)	時期	内容	実施回数	参加する 女性農業者 者の人数	事業費(千 円)	国庫補助金	備考
計							

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開

4 本事業を活用した取組計画（注）

時期	取組内容・回数	備考
4月	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <p>当社では、女性の農業への定着を狙いとした既存の取り組みとして、短時間勤務等のワークライフバランスを考慮した就業条件の整備を行っている。弊社保有の作業台は男性の高さで作られており、女性が長時間作業すると腕や肩を痛めやすいので可変式の作業台を設置し労働環境改善したい。</p> <p>また、定期的に社内研修を行い、技術面でのサポート体制を整え、女性のスキルアップに注力している。</p> <p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <p>当社では、2011年から、地被植物生産の規模の拡大している。</p> <p>緑化部門では、地被植物の生産管理から出荷を行っている。緑化部門の生産管理業務においては、現在女性が活躍しており、これを踏まえて、今後の地被植物生産の事業拡大にあたり、人手不足になる。</p> <p>男女別トイレ、高さ調整可能な作業台の設置に取り組み、女性が働きやすい環境を整備することで安定した雇用を増やし、女性就農者の地域定着を目指す。</p> <p>【具体的に実施する取組内容】</p>	【目標】
4月	・働きやすい環境の整備に向けた社内検討会及び社労士等専門家への相談 1回	採用面接等2件
6月	・ハローワークへの求人情報の掲載 2回（4月～12月）	
9月	・男女別トイレ、作業台の設置 ・地域農業者との情報交換 1回	

（注）3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標（注）

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注）	事業実施年度	1人
	事業実施翌年度	1人
	合計	2人
（女性農業者の新規確保人数の内訳）		
自営農業就業者 人、雇用就農者 2人、 アルバイト等 人		

（注）事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

（参考）

<p>上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画 （第4の（1）「施設等確保の取組」のみ記載）</p>
<p>【事業実施年度】 （取組予定業務）植物の生産管理出荷販売業務 （採用時期） 令和 5年 12月 （人数） 1人</p>
<p>【事業実施翌年度】 （取組予定業務）植物の生産管理出荷販売業務 （採用時期） 令和 6年 12月 （人数） 1人</p>

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。